

全国生涯学習カラオケ大会2021in和歌山

“紀の国”和歌山県にて
 カラオケ大会を開催!!



山青し 海青し 文化は輝く
 紀の国わかやま文化祭2021

第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会



本大会プログラム

コロナ禍で減ってしまった歌う場、カラオケ愛好家へ発表の舞台を提供

令和3年9月25日(土)、コロナ禍にあっても対策を講じれば発表の場を持てることを証明すべく、和歌山県民文化会館(小ホール)にて「全国生涯学習カラオケ大会2021 in和歌山」を行いました。本大会は「紀の国わかやま文化祭(国民文化祭/全国障害者芸術・文化祭)」の応援事業でもあり、文部科学省、和歌山県、和歌山県教育委員会の後援をいただいたの開催となりました。

感染症対策としては、当連盟策定の業種別ガイドライン(カラオケボックス等の歌唱を伴う飲食の場における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン)遵守は勿論のこと、2ページに記載の「当日実践した主な感染防止対策」による感染防止策が実施され「対策を講じればコロナ禍でも発表の場が開ける」ことの実証の場となりました。

当日は50名の選拔者が会場に集まり、無観客ながら、新様式である“マスク着用”にて、日々研鑽を重ねた歌声を披露。会場の模様をインターネットでライブ配信するカメラとテレビ和歌山の収録カメラを前に熱戦を繰り広げました。尚、収録された当日の様子は、ダイジェスト版として40分番組に編集され、10月30日(土)にテレビ和歌山で放送されました。

出場者の場内滞留防止のため、表彰式は省略となりましたが、最終審査の結果、和歌山県知事賞の下尾礼子さんをはじめ、計8名の入賞者が決定。入賞者発表は、9月27日(月)に当連盟とテレビ和歌山のウェブサイトにて同時発表されました。2週間を経過した現時点において来場者名簿の陽性者は確認されておりません。



▲検温 ▲入場者名簿の記入 ▲身体的距離の確保 ▲マイクの消毒カバー交換



歌山県民文化会館
 (小ホール)

和歌山県和歌山市小松原通り一丁目1番地にあり、大ホール・小ホール、その他会議室等を備えた多目的ホール。周辺には県庁や和歌山城があり、1970年の完成以来、コンサート、展示会、講演会等に利用され、通称「県庁」と呼ばれ、県民に親しまれている。

「全国生学習カラオケ大会2021 in 和歌山」 入賞者発表

厳正なる審査の結果、最も栄誉ある和歌山県知事賞には、「あなたがいることで」を歌った下尾礼子さんが決定しました。ここに本大会の入賞者8名を発表します。

和歌山県 知事賞

下尾 礼子さん

歌唱曲
あなたがいることで



和歌山県 教育委員会教 育長賞

松本 千鶴さん

歌唱曲
望郷じよんがら



カラオケ 使用者連盟 理事長賞

飯村 久仁子さん

歌唱曲
アイノカタチ



当日実践した主なウイルス感染防止対策

主催者の実践項目

●無観客開催/ライブ配信
人の密集を避けるため、会場内は関係者以外の入場を制限し、無観客開催を実施。会場の模様は、インターネットでライブ配信。また、当日の様子はテレビ和歌山にて40分番組に編集し、ダイジェスト版を後日放送。



▲オンラインによるライブ配信

●換気
会場の上手と下手の扉2カ所を開放し、更に空気が滞留しないよう換気設備と送風機によって排気口への気流を常時確保した。



●消毒
歌唱用マイクは複数本用意し、使用後には都度アルコール消毒とマイクカバーを交換。また、使用後の座席やテーブル等は、スタッフが都度アルコールで消毒。



●表彰式の省略
入賞者発表は、後日ウェブサイトにて行い、入賞者へは直接結果を連絡し、表彰記念品を送付。



来場者への実践項目

●「来場者名簿」の作成
感染者が出た場合に感染経路を調査するため、「来場者(チェックシート)」に全員の氏名、連絡先、当日の健康状態を記入。 来場者チェックシート▶

●常時マスク着用
会場内では飛沫対策として全員が常時マスクを着用。出場者も「歌唱時のマスク着用」を実施。



●手指消毒
会場入り口をはじめ、会場内各所に手指用除菌アルコールを設置。入場の際には係が検温と消毒を実施。



●飲食の禁止
会場内での飲食や発声などの行為を禁止。



●身体的距離の確保
会場へは10名毎に入場し、着席は間隔を1m以上確保するよう誘導員を配置。待機時における出場者同士の身体的距離(1m以上)を確保するよう座席を予め配置。また、歌唱後には、ライブ配信や入賞者発表と収録放送の案内を説明し、いち早い退場と帰宅を促した。



新型コロナウイルス感染防止対策のため、以下項目のご記入をお願いします。

記入日	年 月 日
氏名	(年齢:)
住所	
電話番号	()
体温	℃

チェック項目のいずれかに○印をつけてください。

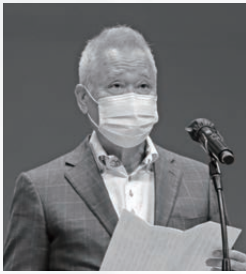
1. 風邪症状(発熱・喉の痛みなど)	あり	なし
2. 味覚・臭覚の異常	あり	なし
3. 倦怠感	あり	なし
4. その他、ご自身や家族の体調で、気になることがあればご記入ください。	具体的に:	

スマートフォンで新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCCA)が利用されている方

COCCAの接触通知	あり	なし
------------	----	----

ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、ウイルス感染者が発生した際の来場者管理への連絡及び調査機関への情報提供に使用します。それ以外の目的には一切使用しません。

「全国生学習カラオケ大会2021 in 和歌山」実行委員会



主催者挨拶を行う
梶 喜代三郎 代表理事

司会進行を務めた
フリーアナウンサーの瀧 朋果さん

本大会の歌唱審査を執り行った審査員の面々

最優秀 歌唱賞

小田 久美子さん
歌唱曲
この愛をあなたと



歌唱賞

田伏 淳さん
歌唱曲
アイシテル



敢闘賞

ソードークボン
サゴーン(オン)さん
歌唱曲
Heartache



熱演賞

玉井 洋子さん
歌唱曲
海色の風
～君住む場所～



努力賞

山田 真規子さん
歌唱曲
微笑みを
思い出すまで



大会名称：全国生涯学習カラオケ大会2021in和歌山
開催日：令和3年9月25日（土）
会場：和歌山県民文化会館 小ホール
主催：一般社団法人 カラオケ使用者連盟
審査員：TONPEI（歌手）
〈敬称略〉辻 裕之（作詞/作曲家）
梶 喜代三郎（一般社団法人 カラオケ使用者連盟 代表理事）
島垣 利光（一般社団法人 カラオケ使用者連盟 常務理事）
深田 昌造（一般社団法人カラオケ使用者連盟 近畿エリア統括責任者）

会員主催のカラオケイベントを当連盟がバックアップします

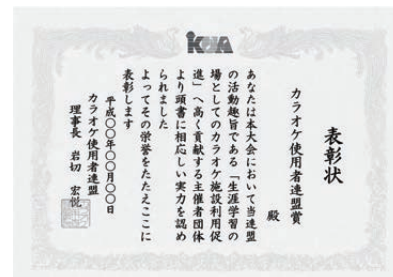
「名義使用許可」・「表彰記念品」をご用意します

当連盟は、会員主催イベントを応援する取り組みとして、「後援名義の使用」と「当連盟ウェブサイトの活用」を勧めています。

当連盟の後援が承認されたイベントは、後援名義をご使用いただくと共に「カラオケ使用者連盟賞」として、「表彰記念品」を進呈します（1年度毎1回無償）。教室や店内で行う発表会から会館やホールなどで開催するものまで、イベントの規模は問いません。後援をご希望の際は、「後援申請書」を当連盟ウェブサイトからダウンロードいただくか、本部事務局よりお取り寄せいただき、必要事項をご記入の上、開催日の2週間前までに本部事務局まで郵送ください。

また、当連盟ウェブサイトは、会員ログインによりイベント情報を自由に掲載できますので、出場者募集や開催告知、結果報告などにご活用ください。

表彰記念品 申請内容に基づき、それぞれ「イベント名称」、「開催日」を記載・刻印します（年度1回無償）。



表彰状（A4サイズ）



表彰カップ（高さ26.5cm）

*当連盟ウェブサイトでは、トップページの「会員ページ」にログインの上、「投稿フォーム」にイベント情報を入力するだけで、イベント情報を掲載いただけます。

<https://kua.or.jp>

検索

「カラオケボックス等の歌唱を伴う飲食の場における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」

見直しに伴う一部改訂のお知らせ

令和3年11月9日改訂

3. リスク評価

施設管理・運営者は、**デルタ株等の変異株の拡大を踏まえ**、新型コロナウイルスの主な感染経路である①接触感染、②飛沫感染**及びマイクロ飛沫感染**のそれぞれについて、従業員や利用者の動線や接触等を考慮したリスク評価を行い、そのリスクに応じた対策を検討する。また、事業再開に伴って、③地域における感染状況を把握した上で、そのリスク評価も必要であることに留意が必要である。

①接触感染のリスク評価

○ドアノブ等の利用者の手が触れる場所を最小限にする工夫を行う。特に高頻度接触部位(マイク、リモコン、タブレット端末、カラオケ機器、テーブル、電気スイッチ、インターフォン、蛇口、手すり、エレベーターのボタン、エスカレーターのリフト、セルフドリンクコーナーの設備等)の消毒対策を徹底する。**消毒方法については、例えば厚生労働省 HPの「新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について」等を適宜参照する。**

②飛沫感染及びマイクロ飛沫感染のリスク評価

○適切なマスク着用(品質の確かな、できれば不織布を着用)や、飲食時等マスクなしの状態では会話を控えることを促す。マスク着用方法について、例えば厚生労働省 HP「国民の皆さまへ(新型コロナウイルス感染症)」参照。

4. 事業実施に際して講じるべき具体的な対策

①総論

○感染防止のための利用者管理が必要であり、家族等の関係の深いグループを基本とし、室内への入室は定員の50%を目安とする。例えば、以下のような手段が考えられる。

- 一 利用者数の制限(室内の利用人数制限)
 - 一 家族等の特定の利用者毎での室内の使用
 - 一 利用者の名簿管理(連絡先の名簿記載)
 - 一 利用者に事前に周知をした上で、COCOA(携帯電話の使用を控える場面では、電源及びBluetoothをONにした上で、マナーモードにすること)や**地域通知サービス**等の接触確認アプリや**利用者のQRコード読取**の活用
- 飲食は、できるだけ控え、又は正面の配置は避ける**か換気に注意をした上でパーティション等の設置を活用する**ものとする。

②利用者の安全確保のために実施すること

A) 入店時

○**入店時に**利用者に対して**検温等を行い**、発熱や咳等の異常が認められる場合や感染の疑いがある場合は利用をお断りさせていただく旨を事前に周知する。

○来場の際、家族等の利用者毎に連絡先の名簿記載を要請する。

○店舗入口や手洗い場所等に、手指消毒剤(消毒用アルコール等)を用意し、入店時に手指消毒を促す。

○**デルタ株等の変異株の拡大を踏まえ**、飲食中以外は**隙間ができないようにするなど正しい**マスクの着用をお願いすると共に、定期的な手洗いや手指消毒を促す。

○接触感染及び飛沫感染を防止するため、十分な身体的距離を確保することが重要であることを理解してもらう。

イ) 室内への案内時

○家族等の特定の利用者毎に案内する。

○上記の場合であっても、人数が各室の通常定員の半数を超える場合は、分散利用を促す。

○歌唱に際して、対人間の距離を2m以上とすることに理解を求め、座席間隔についても、できるだけ2m(最低1m)空け、横並びで座ることを理解してもらう。

○**聞く側のマナーとして会話を控え、マスクを着用している場合であっても大声を出さず、会話を短く切り上げるよう理解を求める。**

令和2年5月25日に策定されたガイドラインについて、令和3年11月9日に一部改訂されましたので会員各位へお知らせいたします(前回改定:令和3年6月4日)。

以下、**枠囲み**が主な改訂箇所(=は削除部を示す)となります。尚、下記は主な改訂箇所のみ記載となります。その他、文言や表現等についても変更がありますので、当連盟ウェブサイト(<https://www.kua.or.jp/pdf/guideline.pdf>)より、ガイドライン全文をご確認ください。また、PDFをダウンロードいただけますので、改定前のものをお持ちの方は改訂版に差替ください。

○**設定音量での使用を促し、必要以上に音量を上げないことに理解を求める。**

③従業員の安全確保のために実施すること

○従業員の緊急連絡先や勤務状況を把握する。

○従業員の平熱体温を登録し、勤務時に検温を促すものとする。当該個人の平熱から概ね+0.5℃以上の熱が記録された場合は、必要に応じて医療機関への受診を促すとともに、診断結果を記録する。また、職場における検査の更なる活用を次の通り奨励する。

- ・普段から健康観察アプリなどを活用し、毎日の健康状態を把握すること。
- ・体調が悪い場合には出勤せず、自宅療養すること。
- ・出勤後に体調が悪い場合や発熱などの体調不良を訴えた場合は、抗原簡易キットを活用して検査を実施すること。
- ・抗原簡易キットでの検査結果が陽性であった場合、保健所の了承を得た上で、「接触者」に対してPCR検査等を速やかに実施すること。
- ・抗原簡易キットの購入にあたっては、(1)連携医療機関を定めること、(2)検体採取に関する注意点を理解した職員の管理下での自己検体採取すること、(3)国が承認した抗原簡易キットを用いることとし、具体的な手順、キットの購入申込先リスト等については、下記URL参照する。<https://www.mhlw.go.jp/content/000798697.pdf> (令和3年6月25日事務連絡「職場における積極的な検査等の実施手順(第2版)」について) <https://www.mhlw.go.jp/content/000819118.pdf> (令和3年8月13日事務連絡「職場における積極的な検査の促進について」)・また、寮などで集団生活を行っている場合や、従業員同士の距離が近いなど密になりやすい環境(労働集約的環境、一般的な感染防止措置を行うことが困難な場合など)、クラスター発生の危険性が高い職場環境では、定期的なPCR等検査の活用も有用であるので、導入を積極的に検討する。

○咳エチケット、マスクの着用、手洗いや手指消毒を徹底して実施する。

○従事者に感染が疑われる場合には、保健所等の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。

○感染した従業員及び濃厚接触者と判断された従業員の就業は禁止する。

○**従業員にはユニフォームや衣服のこまめな洗濯を心掛けさせる。**

④施設管理

イ) 従業員スペース

○**食事、着替え、喫煙等でマスクを着用しないときは、会話を控えるか、会話の場合はマスクを必ず着用する。**対面での飲食や会話を回避するよう促す。

○人が滞留しないよう、間隔を置いたスペースづくり(できるだけ2mを目安に(最低1m)確保するよう努める)や、**収容人数を決めて従業員に混雑時間帯の利用回避を周知する**等の工夫を行う。

○常時換気を行う。

○テーブル、椅子等の物品の消毒を定期的に行う。

○入退室の前後に、手洗いや手指消毒を行う。

○厨房の調理設備・器具を家庭用塩素系漂白剤で、金属部分については洗剤で清拭し、作業前後の手洗い等の衛生管理を徹底する。

ウ) トイレ

○不特定多数の手が触れる場所は、定期的に清掃・消毒を行う。~~トイレの蓋を開けて汚物を流すように表示する~~

○ハンドドライヤーは**アルコール消毒その他適切な清掃方法により定期的に清掃されていることを確認する場合を除いて**使用を中止し、備え付けのペーパータオルや個人用のハンカチの利用を促す。液体石鹸、手指消毒剤等を準備する。

○トイレの混雑が予想される場合、最低1m(可能であれば2m)の間隔を空けた整列を促す。

以上

店舗・施設会員へ

「2022年版カレンダー」をお送りします

本年度も店舗・施設向けカレンダーを作成しましたので、会員各位へお届けします。このカレンダーは当連盟会員の証となるもので、下部には会員専用フリーダイヤル(通話料無料)を記載しています。登録情報の変更(移転・退会など)やその他お問合せ、事務局への連絡の際にご利用ください。また、カレンダー日付欄にはメモなどを書き込めるスペースもございますので、是非店内に貼ってご活用ください。

このカレンダーは、店舗・施設会員向けに作成したもので、教室会員へはお送りしていません。教室会員へは、カレンダーに代え、毎年「歌謡教室講師認定証」を発行しています。



2022年版カレンダー

JASRAC使用料のお支払について、今一度ご確認ください

カラオケ設置店及び歌謡教室が支払う音楽著作物使用料は、JASRAC(一般社団法人音楽著作権協会)によって楽曲の権利者(作詞・作曲者)へ分配され、新しい作品づくりに活かされています。当連盟では、音楽著作物を利用する全ての利用者に、音楽の適法利用と音楽著作物使用料の未払い及び滞納防止を呼びかけています。

会員各位におかれましても、JASRACへの支払い日(口座振替日)をお確かめの上、支払いに遅れが生じないようお努めください。

送付物の宛先について

会員への送付物は、会員からのお申し出がない限り「加入申込書」にご記入(会員登録)いただいた店舗・施設を宛先にしています。個別の郵便受けが無い等、受け取りが困難で紛失の可能性がある場合には、ご自宅や法人事務所等へお送りします。その際は、送付物の宛先変更を希望する旨、事務局までご連絡ください。

尚、「歌謡教室」会員については、会員登録時点でご自宅を宛先としておりますが、変更を希望される際はご連絡ください。

フリーダイヤルをご利用ください

コール しょうコール

0120-56-4056 携帯電話・PHSからは 03-3495-5695

(業務時間は祝日、年末年始を除く、月曜から金曜の午前10時から午後6時まで)

経営者変更・移転・閉店などのご連絡は、通話無料のフリーダイヤルでその都度お願いします。退会の際には引落の停止手続を行いますので、必ず経営者よりご連絡ください。